

一般質問



林 和也 議員 (自民)

立会川の環境整備について

①立会川の護岸は無機質なコンクリートでつくられているが、護岸の緑化は環境対策や景観に配慮したまちづくりの視点、コミュニティの活性化に有効だ。現在、地元の町会や商店街が中心となった「立会川周辺をのびプロジェクト」により、河川環境の改善に向けた活動が続けられており、今後、緑化の具体的な手法などについて地元と連携していくことが重要と考える。壁面緑化の進捗状況と今後の取り組みについて伺う。

②立会川は、JR東京駅付近の地下湧水の放流などにより、臭気が増えるなどの水質改善が見られる。一方、以前はボラが発生し話題になったが、その後は魚が増えたという話も聞いておらず、生息している



天王洲での大規模救助・救急演習

から自主的な活動を支援するなど、連携・協力のまちづくりを進めたいと考える。②立会川は下水道が普及したことなどにより、以前と比べると臭気が増えるなどの改善が見られるが、雨天時に下水が流れることなどから、河川の中層から下層にかけての水質は依然として悪い状態が続いている。区ではこれまでと同様に都に対して合流式下水道の改善の取り組みを強く要望するとともに、来年度、水質悪化や臭気の発生を抑制する下層の酸素を増やす対策などに実験的取り組みを進めたい。

③現在、立会川流域において水道の改善事業が進められているが、完了後は高潮対策の水門整備を行い、環境護岸を整備することだ。将来の護岸の形態やさらなる緑化方法など、具体的な内容については、今後、地元の意見も取り入れ、関係機関と調整のうえ、検討していきたい。

大井競馬場厩務員に関連する環境問題について

①大井競馬場の厩舎や厩務員宿舎は施設の老朽化が進み、厩務員は厳しい環境での生活を余儀なくされている。従来、ふる場もなかったが、昨年ようやく共同のふる場が完成した。しかし、その管理は厩務員組合の組合員が交代してきてをまかない、大きな負担を強いられると聞く。そこで、主催者である特別区競馬組合に、厩務員の職場環境の改善とともに施設への補助の検討をしていただきたいと思

うがいかか。②葛飾区は、高齢者のストレス解消などにポニーを使った取り組みを計画しており、購入について予算措置したと聞く。厩務員組合では、日ごろから町会や商店街のイベントに参加するなどボランティア活動をしており、ポニーの購入を計画している。区も予算措置し、組合に委託をしてはどうか。

助役 ①厩務員は調教師が雇用主であるため、特別区競馬組合と厩務員との間には直接の雇用関係がない。特別区



宮崎 克俊 議員 (共産)

国民健康保険料の減額、高齢者の医療費無料制度の復活を求める

①国民健康保険料の値上げを凍結し、加入者が支払える金額への、段階的な値下げをするよう求める。また、保険料の凍結と減額について国や都に働きかけるとともに、区は、一般会計からの財源投入を増やすよう求める。②低所得者への減免制度の拡大を図っていたらどうか。③老人医療費無料制度を復活させるために、国や都に働きかけるとともに、区でも導入を検討していただきたいと考えるがどうか。

区民生活事業部長 ①18・19年度に税制改正の影響により保険料負担が大きくなる世帯に対して、激変緩和策として減免措置を講じていることなどから、値上げの凍結や一般会計からの繰り入れ増額に

計画の押し付けはやめ、住民の合意を進めるべきと考える。また、「災害を未然に防ぐ」立場で、住宅の耐震化こそ急ぐべきでは。②品川区は新年度に「住宅・建築物耐震改修促進計画」を策定する。二葉・西大井・豊町地域の防災まちづくり計画は密集事業だけでなく、住宅やマンションなど建物の耐震化計画や空地の確保、消火体制の整備なども盛り込んだ総合的な計画について直すよう求める。まちづくり協議会を仕切り直し、住民合意のもとで進めていただきたい。

区長 ①補助29号線は交通網の整備、何よりも防災上の観点から必要な都市計画道路だ。整備については、地域の皆さんの理解を得ながら実現されるべきことは当然であり、都も同様の考えだと思われる。なお、すでに明らかにしているように、区は荏原地域を中心とする木造住宅密集地域などで、重点的な耐震支援策を講じる予定だ。②「防災まちづくり計画」の、二葉・西大井地区の計画においては耐震化の促進などが定められている。また、これから作成する豊町地区の計画にも同じように盛り込む予定だ。したがって、「まちづくり協議会」を初めからやり直す必要はないと考える。

大井町線への急行乗り入れは安全第一の計画に
区は、戸越公園駅の単独立体化を関係機関に働きかけよ

①計画廃止を求める請願が出されるなど、補助29号線計画は住民が反対をしている。

井町線への急行乗り入れは、戸越公園駅と踏切の立体化が条件」との回答が多く寄せられた。区は、戸越公園駅と周辺踏切の単独立体化を、国などの関係機関に働きかけていただきたい。また、立体化できるまで戸越公園駅にも急行を停車させるよう、東急電鉄に働きかけるよう求める。

②下神明1号踏切の拡幅やホームドアの設置などの安全対策と、地域住民の理解を得るための説明会の開催を求める。

まちづくり事業部長 ①交通安全対策上、鉄道の立体化が望ましいが、立体化自体が区と都、国と事業者との密接な連携と多額の税や長い期間を要する大規模な事業となることから、現実的な展望のない現在において、関係機関に働きかけることは、責任ある対応とは言えないと考える。

②区では東急電鉄に対して既に、万全な安全対策を講じるとともに、地域への十分な説明を行い、理解を得るように申し入れをしている。今後、必要な要請を行っていく。

会派の変更等について

1月25日に品川自民党区議団より会派の変更届が提出され、築館武雄議員が会派に属さない無所属の議員になりました。また、2月1日に生活者ネットワーク・無所属より会派の変更届が提出され、「品川・生活者ネットワーク」となり、須貝行宏議員が会派に属さない無所属の議員になりました。